

オンラインで学習するためのヒント

ここではオンライン学習をより良いものにするためのヒントを説明します。実際にコースを受講する前によくお読みください。

1 初めて受講される方へ

トラブルシューティング：問題や疑問が生じたときは
なにか理解できないことがあったり、オンライン学習や学習体制、検定試験について疑問な点があったりした場合は、以下の方法で解決することができます。

- ・オンライントレーナーにメールを出す
 - ・質問を Forum にポスティングして同じクラスの参加者に尋ねる
- * Meeting Point にはいろいろなコミュニケーション機能があります。

2 オンライン学習の進め方

TCTraining プラットフォームでの学習には以下のようなメリットがあります。

- ・自分で自由にスケジュールを組める
- ・いろいろなコンテンツを学べる
- ・簡単にいろいろな情報にアクセスできる

このオンラインコースは、オンラインだからといって易しいというわけではありません。従来のコースと同様に難しさがあります。課題を提出したり、研究したり、テストを受けたり、グループ討議に参加したり、レポートを書いたりすることで、コースの要求事項をクリアする必要があります。コースの期限内であれば、自分の都合のよいときにこれらのタスクを一度にまたは分散させてやりとげることになります。

仕事や家庭の用事をしながら、フレキシブルに自由にオンライン学習を進めていくことができます。しかし、毎週少なくとも 7 時間はオンライン学習に充てるようにしましょう。したがって、時間配分をよく考える必要があります。

オンラインコースでは、ウェブキャストやウェブベースでの学習やオンライン上のドキュメントなどいろいろな資料にアクセスできます。これらの資料をうまく読みこなし、選択科目になっているものも含めて多くの資料にチャレンジしましょう。そうすることで、オンライン学習から得られるものも多くなりますし、理解の度も深まりますし、上級コースへのステップにもつながってきます。

個人の学習スタイルとモダンな PC 環境で、オンライン学習の様々な経験ができます。そのためにも、コンピューターやインターネットがスムーズに使用できる環境が最低限必要になります。1 週間に数日 TCTraining プラットフォームに接続し、オンライン学習を進めるために、インターネット接続が必要になります。(ケーブルまたは DSL の)ブロードバンドでのインターネット接続が望まれます。ダイヤルアップのモデム接続では、スピードが遅いため、コース受講の楽しさは半減されます。

2.1 受講者としての責任

- ・関連した討議に参加したり課題にとりかかたりする前に、アサインされたすべてのドキュメントを読み込んでおくことが必要です。
- ・ドキュメント制作のプロとして、また礼儀正しい個人として参加します。
- ・それぞれの課題にとりかかる前に、よく調べて準備をすませておくようにします。
- ・主要な課題にとりかかる前に、質問をしたり疑問点を解決したりしておくようにします。

各ユニットの最後に **Report of Completion**(修了確認証)が表示されます。各ユニット修了のたびに **Report of Completion** に氏名を記入の上 PDF を出力し、その PDF をオンライントレーナーにお送りください。この **Report of Completion** は、ユニット学習の最後に表示されるものと **Quiz** のものの 2 種類があります。したがって、ユニットごとに 2 種類の **Report of Completion** を送る必要があります(**Report of Completion** を 80%以上提出することもレッスン修了の必要条件となります)。

2.2 受講者としての権利

- ・コースに含まれるすべての資料にアクセスする権利があります。これらの資料を使って、受講生はコースの目標や要求事項をクリアすることができます。
- ・トレーナーに質問した場合、トレーナーは遅くとも 1 週間以内にその質問に答えます。

2.3 コースで使用する言語

- ・コース学習はすべて英語で行なわれます。ほかの受講者のためにもすべて英語をお願いします。

2.4 お互いに情報をシェア

- ・ネットワークを促進しやすくするため、そしてすべての受講者に参加してもらえるようにするために、お互いの自己紹介をお願いします。**Meeting Point** で受講者同士のプロフィールを見ることができるようになっています。受講者のポートレート写真に加えて趣味や興味ある分野、プロとしての履歴などもアップしていただけるようお願いいたします。ご注意：ご自身の本名とはなんの関係もない仮名やニックネームなど匿名の使用は禁じられています。

す。

2.5 オンライン学習について

① オンラインコースは便利ですが、だからといって簡単だというわけではありません。

たとえば、1時間のインタラクティブな学習の場合、適切に理解するためにその後2~3時間はかける必要があります。1時間のオンライン学習だけでコースの要求事項を満たせるものではありません。「コース学習のルール」として、1時間のインタラクティブなオンライン学習にはもう1時間の理解し、まとめる時間が必要だと考えてください。

事実、オンラインコースの場合、時間が長くかかってしまいます。学習教材を見直したり、インターネット上のトピックを探したり、あるいは記事を読んだりする必要があります。また、トレーナーや同じクラスの受講者が近くにいてくれるわけでもありません。

加えて、同じクラスの受講者やトレーナーと討議したりする時間も必要です。

② 従来の対面式のコースよりもオンラインコースのほうがやさしいとは考えないでください。

実際に、オンラインコースでは従来の対面式のコースでは経験したことがない問題があったりします。コースの目標を達成すること以外に、以下のようなオンライン学習での問題要因を経験するかもしれません。PCでの技術的な要求、自主性を持ち続けること、同じクラスの受講者やトレーナーと離れていること、トレーナーからのフィードバックの遅れ、インターネットを通じてのグループ作業などです。コース学習に際しては、これらの要因を考慮して対応する必要があります。

③ よりフレキシブルにスケジュールを組めます。

オンラインコースでは、従来の対面式クラス学習に比べて、よりフレキシブルに対応することができます。しかし、たとえば受講者やトレーナーとのグループでの作業が必要な課題などの場合のように、ある特定の時間に合わせる必要があったりします。前もって計画し時間に余裕を持たせることで、ミーティングの直前に起こったりするような技術的問題に対応できるようにします。

④ オンライントレーナーからの返事に多少の時間がかかることがあります。

オンライントレーナーは、適切なタイミングであなたの質問に答えるようにしています。しかし、1週間、1日24時間通していつでもお答えするというようなことは不可能です。eメールやDiscussion forumでの返事がすぐには来ないかもしれません。その点、ご了承ください。返事に要する時間はトレーナーによっても異なりますが、1~2日の間には返事が来ると思います。もし3~4日経っても来ないようでしたら、もう一度連絡してみてください

い。

2.6 オンラインコースをより良いものにするために

・自主性と自制心を持ち続ける

オンライン学習の自由さとフレキシビリティに伴って、自己責任も増してきます。オンライン学習では、遅れることなくコースの目標を達成するために、自分をコントロールすることが重要です。

・コンピューター、インターネット(ハイスピード接続)、必要なソフトウェア/ハードウェア

インターネットを通してのコミュニケーションがキーになります。必要な機器や環境が揃っていることを確認してください。

・学習できる場所を確保する

ドアを閉めて、教材を広げて、妨げなく学習できるプライベート空間があるといいですね。学習スペースと食事するところ眠るところを合体させてみるのもいいでしょう。たとえば、ダイニングルームなど、学習の前に食事をとったりして準備できますよ。とにかく、自分の生活のなかで勉強する空間を区切ることで、学習に対する重要性を意味付けするという心理的な効果も得られます。

・同じクラスの受講者と積極的にコミュニケーションする

人生や仕事、学習経験などをシェアすることは学習プロセスの中のかげがえのない宝物になります。慎重さは常に重要ではありますが、思い切ってほかの受講者たちとコミュニケーションするのも良い経験になります。オンライン学習の環境下では、人によってはコミュニケーションを難しくさせる視覚的な障害を取り除くことができます。その時点でのテーマに関する自分のアイデアや見方やコメントをシェアし、ほかの受講者の見解も読んでみるとおもしろいでしょう。オンライントレーナーが単なる情報源である必要はありません。オンライントレーナーやほかの受講者から深い洞察を得たり、サポートしてもらったり、また、その逆も可能です。

・学んだことを仕事に使ってみる

学んだことをすぐに仕事に使ってみることで、学んだことをよく理解できるようになります。可能であれば、オンライン学習で学んだことをどんあことであれすぐに使ってみるとよいでしょう。オンライン学習で学んだことと仕事でやっていることを結びつけてみたらどうでしょう。自分が学んでいるテーマに実社会での経験をあてはめてみることで自分

のものにすることができます。このようにして、あなたとほかの受講者は互いの学習プロセスに貢献することができます。経験を共有することで、だれもがベネフィットを受けるのです。

・返信する前にアイデアをよく考え抜いて、それを明快に伝えるようにする

ほかの学習環境と同様に、オンライン学習プロセスではあなたやほかの受講者の投稿が重要なものになります。ですので、投稿に際しては、より意味のある質の高いものになるように心がけるべきです。

学習スケジュールは、返信するために十分な時間をかけることができるようにしています。アイデアを試し、対立意見を受けたり討議したりするようにします。対立的な見解を述べられたときも大らかに対処するように努めましょう。ときには間違ったりもするものです。

・問題が生じたらすぐに声に出して言う

従来の対面式のクラスであれば、学習者が混乱したり不満そうであったり退屈したりして、それを声には出さなくても態度に出てきますので、先生はすぐにそれを理解できます。しかし、オンライン環境ではそういうわけにはいきません。技術的な面や講義内容でどんなレベルであれ問題が生じたら、トレーナーにすぐに話してください。そうすることによって、トレーナーは問題を把握することができます。

・まわりの人たちが自分を理解してくれるようにする

オンライン学習をスタートする前に、職場の同僚や家族そして友達があなたのことを理解してくれるようにしておきましょう。夕方や週末にコンピューターの前で何時間も続けて学習したりするときは、まわりの方の配慮が得られると非常に助けになるものです。あなたのまわりの人たちが1日の仕事を終えてリラックスしたいときに、あなたはオンライン学習を始めることとなります。あなたがこれからやろうとしていることやその目標を理解してくれていると非常にやりやすくなります。

・やるべきことを先に延ばさない

たとえ課題の提出締め切りが日曜の夜であっても月曜日の朝までに出せば問題ありません。なにか問題が生じたときなど、そうすれば良いわけです。学習を早く始めることによって、予想外のトラブルが生じることに備えることができます。コンピューターがクラッシュしたり病気になったり停電したりして、課題の提出が遅れたりします。締め切り日より数日早く提出することを心がけましょう。月曜日の朝に e メールを出して、課題を締め切りまでに提出できなかった言い訳をすると、その時はなんとかトレーナーに通じるかもしれません。

早めに課題をすませっていくことはオンライン学習の第一の秘訣です。グループ作業やあな

たのことを信頼できる相手として必要としている場合など、特にこのことを留意すべきです。ぎりぎりまで課題にとりかからないということがないようにしましょう。最後の締め切りを設定するだけではなく、同様に余裕を持ったスケジュールを立てて互いに助け合うようにしましょう。

・学習の仕方そのものも学ぶ

オンライン学習であっても従来型の対面式学習であっても、学習の仕方そのものを考えてみることは自分の役に立ちます。学習中にも自分の学習の仕方を振りかえり反省するように心がけましょう。そうすることによって、コースの内容を学習すると同時に勉強の仕方を改善することができます。

・短期間での細かな目標を設定する

オンライン学習の際に心がけるべきこととして、短期間での細かな目標を設定することが挙げられます。この種の目標の利点は、目標が比較的短い時間の範囲内で達成しやすいことです。そうすることで、試験に合格するための長期間にわたる道のりを、常にモチベートされた状態にし続けることができます。たとえば、「今日は導入モジュールのウェブキャストを見よう」、「午前6時から始めて、遅くとも7時30分までには終わらせよう」、「それから仕事に行こう」といった感じです。

「試験に合格しよう」といった長期間の大まかな目標では、コースを修了することは永遠のタスクのように感じられて挫折してしまうおそれがあります。

・批判的思考と意思決定が学習プロセスの一部であること

どのようなタイプの学習環境であっても、学習者は事実や経験をベースに意志決定することを要求されます。また、事実や経験を理解して正しい決定をするために批判的思考が求められます。

・礼儀正しくする

オンラインクラスの匿名性ということを含め、どんなことであれ、礼儀を保ち丁寧な会話をすることを根気よく誠実に実行するようにします。あなたが意見をやり取りする回線の向こう側の相手はバーチャルでもなんでもなく実際の人たちであるということを意識します。礼儀正しくすることは常識であるというだけではなく、建設的で互いに支え合うオンラインでの学習のために絶対に必要不可欠なものです。積極的に前向きなオンライン環境をつくりあげることで、すべての受講者はトレーナーや受講者仲間によって自分が正当に評価されていることを実感することができます。

・受講者をサポートする

コース学習の期間中、有能なオンライントレーナーがあなたをサポートし、ガイドします。助けが必要な時はいつでも、eメールかチャットでオンライントレーナーに連絡してください。

2.7 オンラインでのグループ作業やディスカッションを成功に導くために

オンラインでのディスカッションやグループ作業は、学習を深めるためのより良い機会になります。オンライン学習の特性として、ほかの受講者と作業をするときにユニークな対立が生じたりします。オンラインでのグループ学習を推進するための以下のヒントを読んでください。きっと、あなたの経験を実りのあるものにし、ストレスのないものにするのに役立つでしょう。

① コミュニケーションが成功への鍵

クラスの受講メンバーが決まると、受講者は e メールアドレスなどのコンタクト情報を交換します。ある一定期間クラスに参加できないような事情が発生した場合は、ディスカッションフォーラムにあなたが不在になることをポストイングしてください。グループ作業で生じる問題として、締め切りが迫ったときに受講メンバーが連絡がつかないとか、そのメンバーがどれだけ作業を進めているかわからないということがあります。

② あらゆるコミュニケーション手段を活用

できれば、Skype (www.skype.com)などを使って、すべての受講メンバーが参加してのオンライン会議を行ない、グループでの作業を進めるとよいでしょう。このオンラインコースのサイトには、ディスカッションフォーラムやチャットルーム名などのコミュニケーション手段があります。

③ ためらわずに前進

ためらわないで、ほかの受講メンバーとオンラインでのメッセージのやり取りを始めましょう。特に、オンラインでのグループ作業の場合、誰かがイニシアチブを取る必要があります。作業が始まると、ほかの受講メンバーが参加してきて作業をシェアしてくれることでしょう。

④ 個人のスキルを活用

ほかの受講メンバーのいろいろなスキルや経験を活用することで、グループ作業はスムーズにはかどります。それぞれの受講メンバーの能力に基づいて作業を分担しましょう。